

城陽市内全小・中学校

で環境への取組が進んでいます！

J-EMSエコスクール イメージキャラクター

うめ田先生

うめがわら校長

うめ村先生

うめと

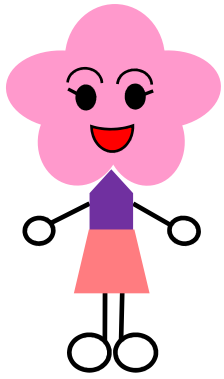
うめか

J-EMS エコスクール

～今年度は、とんぐりやまプロジェクトでの取り組みを紹介～

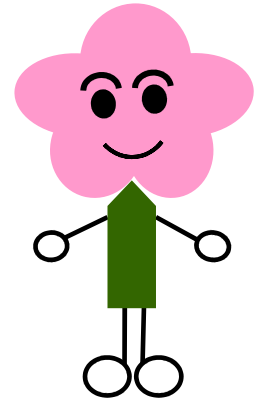
～環境にやさしい **学校** と **人材** を育む エコスクールプログラム～

城 陽 市



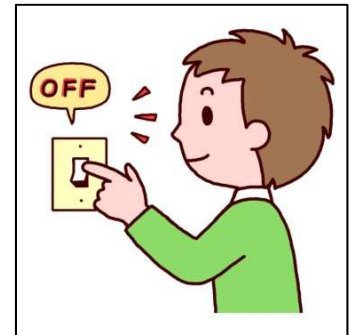
そもそも

J-EMSエコスクールとは



学校で、児童生徒と教職員が一緒になって、

**「電気を無駄に使わない」、
「ごみの分別をしっかりとる」**等の



環境にやさしい学校づくりについて考え、
行動するための手順に、

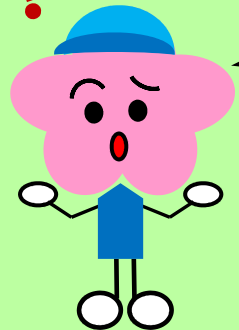
PDCAサイクル (※) を取り入れた



城陽市独自の取組です。

(※) PDCA サイクル
P (プラン: 計画)、D (ドゥ: 実施)、
C (チェック: 確認)、A (アクション: 見直し)
を繰り返すことにより、継続的に改善することをいいます。

?



どうしてJ-EMSエコスクールが必要なの？



気温の変化



海面の上昇



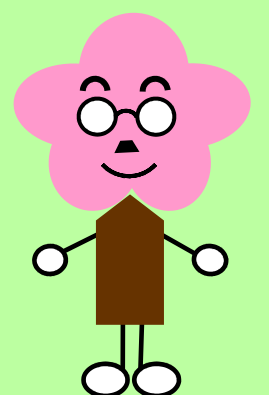
自然への影響



人の健康への影響

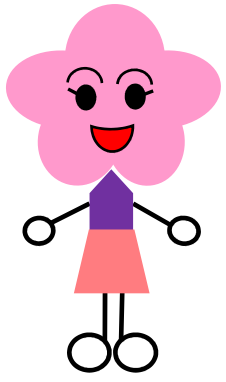
(イラスト: 全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト (<http://www.jocca.org/>) より)

**異常気象や地球温暖化などの
環境問題への関心が高まっているからだよ**



城陽市内の各学校においては、様々な環境活動の推進や、環境負荷の低減に取り組んできましたが、J-EMSエコスクールにより、学校における環境負荷をさらに低減するとともに、環境教育を推進することはもとより、学校

だけでなく、**家庭や地域でも自主的に環境活動に
取り組むような人材を育む**ことが、今求められています。



どんぐりやまプロジェクトとは

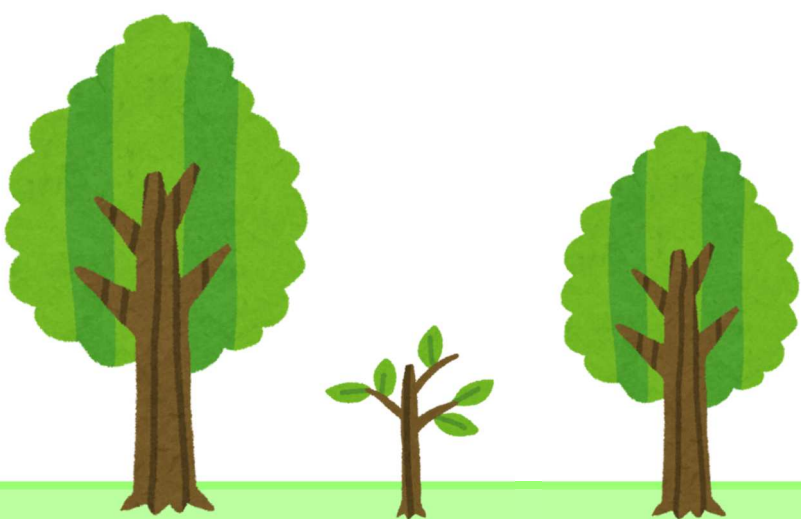


城陽市のまち並みが大きく変わろうとしています。市の豊かな「自然」を守り育てながら、「未来」へと引き継いでいくためには、環境問題を正しく認識し、「今」何をすれば良いのかを考え、身近にできることから行動に移すことが重要です。

「どんぐりやまプロジェクト」は、城陽の未来を担う「子どもたち」が、「ふるさと」の自然に触れる学習や活動を通じて、環境を知り、考え、行動することで、ふるさとへの「愛着」と「誇り」を育みながら、「みどり」を創出しようとするプロジェクトです。

このプロジェクトをきっかけに、一人でも多くの子どもたちが将来の「環境リーダー」として、持続可能な社会づくりをけん引してくれることを願っています。

令和5年度は、「寺田小学校」と「深谷小学校」の2校で実施したプロジェクトを紹介します。



寺田小学校の取組

2年生が
取り組みました！



どんぐり図鑑を作製！

城陽環境パートナーシップ会議運営委員が講師となって、色々な種類のどんぐりの特徴を学び、どんぐりクイズにも挑戦するどんぐりの学習会を行いました。クイズのあとは実際にどんぐりを触って観察し、どんぐり図鑑の作製をしました。



知っているようで知らないどんぐりクイズ。



班で相談しながら、「殻斗(かくと)」でどんぐりを種類分け。



なかなか難しい…。



どんぐり図鑑が完成。



○の部分は
帽子？パンツ？



五里五里の丘でどんぐり拾い！

森守クラブ城陽、城陽環境パートナーシップ会議の協力のもと、どんぐりを探し、ひとり1つずつ配付されたポットにどんぐりを植えました。また、班ごとに広い園内を巡るクイズラリーや自然の中でビンゴに取り組み、班員みんなで協力して自然に触れつつ環境のことを楽しく学ぶことができました。

自分で拾った
どんぐりを
植えます。



森についてのお話を静かに聞き入ります。



クイズラリーに挑戦！



ビンゴになるよう自然の中を探します。

環境のために
大切に育ててね！



深谷小学校の取組

環境委員会で
取り組みました！



どんぐりの学習会を実施

どんぐりの学習会を実施しました。城陽環境パートナーシップ会議運営委員が用意したPowerPointで木津川運動公園整備時のコナラの「里親」になる取組の紹介。このとき植えた木のどんぐりも用いて、どんぐりやまプロジェクトは実施されます。

どんぐりの自然での役割について学び、未来の環境のために自分たちに何ができるかを考えました。その後、五里五里の丘であらかじめ採集されたどんぐりの中から芽が出そうなものを選び、水やりを忘れないようプランターの横にポットを設置しました。環境委員が交代で水をあげて育てています。



どんぐりの木と生物の関わりについて真剣に聞いています。一人一つのポットに名前を貼って育てます。



どんな未来になる？

どんぐりの学習会から3か月ほど経ち、「どんぐりの芽も出ていないのに想像つかない。」「こんなに芽が出るのに時間がかかる？」との声が挙がる楽しい雰囲気の中、振り返りを行いました。植樹場所がどんな場所になってほしいのか、未来の環境のために自分たちは何ができるかを考え、プリントに記入しました。最後にそれぞれが振り返った内容を発表しました。



みんなで意見を言いながら、振り返り中。



暖かくなれば芽が出ます。



未来のために
考えよう！

どんぐりやまプロジェクトで

どんな未来を想像する？

— 寺田小学校2年生のみなさん —

大きくなった木の上
に登って寝てみたい。

ツリーハウスを
作ってほしい！
泊まってみたい！

木の中にくつろげる
スペースがほしい。

木の上に秘密基地を
作って住んでみたい。

木の中に外階段のある
2階建てのおうちを作
る！

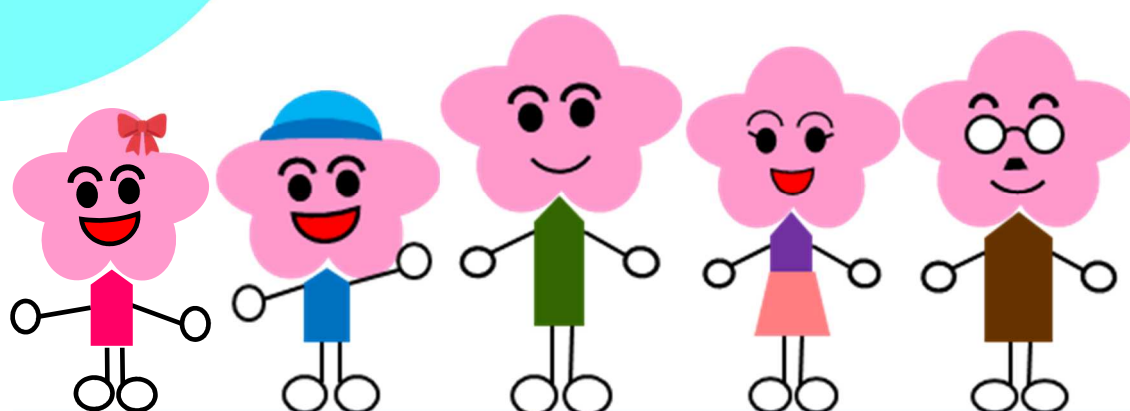
木登りやブランコが
できて虫が集まる公
園に。

木の上のレストラン
でご飯を食べたい。

どんぐりの可愛さ
を広めるためにお
店を作る！

どんぐり滑り台が
ほしい！

ツリーハウスには
木のはしごやエレベ
ーターをつける。



どんぐりやまプロジェクトで

どんな未来を想像する？



深谷小学校環境委員会のみなさん



続けることは大変だけど、今後の環境のことを意識してできることをしていきたい。

どんぐりで遊ぶ人たちの声でにぎやかな場所に！

緑が増え、いろんな人が集まり休める場所になってほしい。

環境を守り自然豊かになるように植物を育てたい。

ごみ拾いやボランティアに参加して、城陽市を守るために取り組みたい。

いろんな人が集まる公園のような場所に！

水などの資源を大切に使えるように、ムダ使いをしない。

毎日水をあげてもすぐに成長しないことがわかった。花と同じようにどんぐりも育つことを知った。

まだ芽は出ていないけど、どんな姿の芽が出るのか楽しみ！

きれいな緑の自然豊かな場所になってほしい。

